

街なみ環境整備方針説明書

都道府県名	岡山県	市町村名	高梁市	区域名	高梁地区	
区域現況	区域の概況	高梁地区は、重要文化財でもある備中松山城の城下町として発展し、現在も歴史的町並みや文化財などの歴史的建造物が多く残され、城下町の姿を色濃く残している。江戸時代の都市計画による町割りや町名、地割りがそのまま残され、現在も人々の生活の基盤となっている。こうした歴史的町並みの保存や歴史的建造物の保存・修景、周辺の景観に配慮した環境整備が特に望まれる地区である。				
	道路の現況	地区の西側の境に国道180号・313号(幅員23m)が走り、都市計画街路(幅員8~12m)2路線が連携して地区内に誘導している。しかしながら、都市計画街路以外の市道は、そのほとんどが城下町の町割りのままであり、幅員は2mから5mと狭く、特に観光ルートとなっている本町通り、紺屋川通りは、地区内の歩行者や観光客の安全性に問題がある。				
	公園等の現況	地区内には、都市公園(2箇所)と児童公園(1箇所)、また集会所やコミュニティ施設があり、住民のコミュニケーションの場として活用されている。				
	地区住民のまちづくり活動の概要	高梁地域まちづくり協議会を中心としてまちづくり活動が展開されている。特に、歴史的町並みの保存や活用では、「本町活性化委員会」や「高梁の歴史的風致を考える会」が住民組織として設置され、行政と住民が一体となり、地区全体で積極的に景観形成に努めている。				
区域の整備に関する基本計画	整備の目標	備中松山城の城下町として発展した歴史的風致を生かしながら、歴史的町並みや建造物の保存・活用を行い、地域の歴史を次世代に継承しつつ、快適な生活環境の向上を目指し、来訪者にとっても魅力ある場となり、街なみ環境整備を図る。				
	整備の時期	令和2年度~令和6年度				
	地区施設等の整備に関する基本事項	通路等	高梁地区の中でも景観上重要な位置を占める本町通りと紺屋川通りは観光客にとっても重要な道となるため、無電柱化とともに周辺の景観に配慮した美装化を行う。また、これらの軸となる通りに接続する道路についても美装化を行い、周辺景観の向上に務める。			
		小公園等				
		その他	旧高梁尋常小学校の本館で明治37年代に建築された郷土資料館(市指定文化財)について、建造物の現状調査及び調査結果に基づく保存修復を行い、良好な景観形成を図るとともに文化、交流、学習施設等としての活用を図る。			
	住宅等の整備に関する基本事項	住宅	地区内には本町を中心に歴史的な建造物が多く残っており、城下町の面影を今もなお残している。民間の住宅で、外観を歴史的街なみに合わせた修理・修景を行う場合、その経費の一部について支援を行う。また、公共空間としての古民家の再生や歴史的建造物の保存・修理・活用を行い、住環境の向上とともに、歴史的町並みの景観の維持、向上を図る。			
		敷地				
その他の事項	備中神楽、渡り拍子、松山踊りの保存・伝承活動への支援を行い、歴史的風致の維持向上を図る。					